

常安寺五重塔の概要

| | | | |
|-------|---|-----|----------------|
| 1. 名称 | 常安寺五重塔 | 所在地 | 山形県天童市 |
| 2. 建築 | 天童木工株式会社 | 設計 | 住職 住持 住持 住持 住持 |
| 3. 竣工 | 平成28年9月 | 高さ | 36m |
| 4. 特徴 | 常安寺五重塔は永代供養塔（江戸時代天明年間の五輪塔）として千年残る建物として建立されるもので、住職の拘りによって平成16年より12年かけて約2,800石の青森ヒバを調達、資材が揃ったことから、平成28年9月着工～平成32年7月の落慶式を目指している。 | | |

山形県建築士会女性委員会 第1回 建築女子フォーラム

至 平成30年11月11日(日) 山形県天童市

山形県建築士会女性委員会企画の「建築女子フォーラム」の呼び掛けに、仙北支部5名と大館北秋田支部3名（内2名は男性）計8名が参加。この日は東北六県から多数参加、総勢62名が受け継がれてきた日本の伝統技術に感動、魅了された。

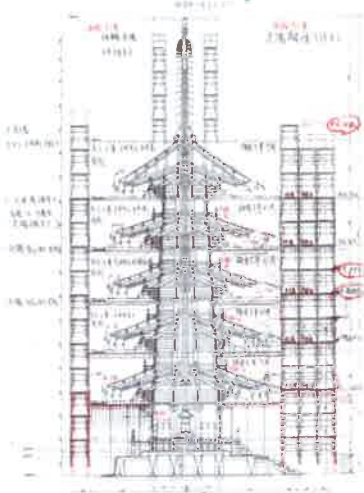
午前の部から参加の仙北チームは、「五日町まちあるき」で天童古城西まちなみ委員長の加藤氏より、お話を伺いながら散策。午後の部から大館・北秋田チームも合流しいよいよ「常安寺五重塔」の見学。

常安寺五重塔は永代供養塔（江戸時代天明年間の五輪塔）として千年残る建物として建立されるもので、住職の拘りによって平成16年より12年かけて約2,800石の青森ヒバを調達、資材が揃ったことから、平成28年9月着工～平成32年7月の落慶式を目指している。

木割りは鎌倉時代よりほぼ同じ型となっているが、京都の醍醐寺五重塔を見本に造られているという。

まさか「五重塔」建設途中を自分の目で見ることは出来たとは思ってもしなかったの、声をかけてくださった山形建築士会女性委員会の皆さんに感謝です。

常安寺 高さ36m 羽黒山29m
国内90番目の五重塔



寄付は冴っていないが、銅版(六つ切り)1枚5,000円で名入れしている



球体は意匠的に各層違えた「束」だそうです。粋なデザインでした



仙北チームの皆さん、ヘルメットで真剣なまなざし



見学会を終えて秋田県建築士会参加者勢ぞろい！大館・北秋田チーム男性員も少し照れくさかったようですが大満足の笑顔。酒目から芯柱の先っちょが「ひょっこり」見えます。このまま冬越しとのこと。



(株)モトタテ現場担当と山形建築士会女性委員会のみなさん



金山町「きごころ様」ライトアップも風情がある歩行者専用橋です



天童木工「ショールーム」天童木工家具の歴史がよく分かる



天童木工ショールームの女性が常安寺の場所を教えてくださいました



見学の前に住職さんと、設計担当の開設設計さんの講演を聴く

